

「成人になって……」 感想論文の入選者きまる

市の教育委員会が、ことし新たに成人になられた皆さんから募集した感想論文の入選者がきまり、成人の日に晴れの表彰を受けました。

この感想文の募集に応募したかたは20名ありましたが、市で厳選した結果、つぎのかたがたが入選しました。

優秀作	齋藤トヨ (弁天町)	選外佳作	齋藤千代子 (大滝)
優良作	石田澄子 (片山)	"	渡辺一男 (十二所)
"	菅井優子 (市病)	"	渡部憲治 (釈迦内)
"	石沢昌子 (長木)	"	沢藤智奈 (大滝)
		"	浅野美保子 (市病)

私は昭和21年に終戦っ子として生まれました。

終戦っ子という言葉を知ったのは、小学1年の時、運動会の遊戯練習をしているのを写真に撮られ、それが「終戦っ子も明るく」という見出しで新聞に載ったからでした。今でも、その新聞を切りとって大事にしてありますが「苦難に満ちた7年間を親たちの深い愛情で育ててきた子らは、明日の希望に輝いている」という内容の記事が載っています。

終戦と共に私が生れ、それと同時に人々の心の中に平和が誕生したのですから、これからのちも一緒に成長していかなければならないのです。

私は戦争という事に対しては漠然と話に聞いただけでどんなものなのかわかりません。でも、人間同志が戦い、傷つけ合う、ということは絶対あってはならないことだと思います。

戦争で生命を失った若人たちの生き方を考える時、私はいつも疑問を感じるのです。

いつか映画をみたのですが、特攻隊としてこれから名前を呼ばれた人は飛行機に乗りなければならない、その中で他の人と同じに返事すらできず、動けない人がありました。

その人は、「自分」という1個の人間としての存在を感じたのではないのでしょうか。肉体に受ける苦しさよりも自己を失うということがどんなに恐ろしいものに思われたことでしょう。

私は、この人こそ人間として当然あるべき素直な姿なのではないだろうかと思いました。

しかし、他の人は自分より国を失うまいとし、自分よりもっと大きなものを自分達一つ一つの小さな力で守ろうとしたのです。

そして、死ぬことに幸福を感じたのです。その勇気は偉大であり、尊い姿であると思います。

どちらが正しい生き方なのか、私には疑問ですが、大いに考えてみるべき課題であると思います。

成人としていかに生きべきか



優秀作
齋藤トヨさん

現在、私は金融機関に働く一労働者ですが、現代の社会の中で正しく生きようとすればあまりに困難が多いように思われます。

私の職場を見回すと、そういう困難に負け、目先の幸福だけを求めている人間があまりに多いのです。

しかし、微々ではありますが、正しく生きようと努力している人もおり、

共に進んでいくと内面的な幸福を感じさせてくれます。この人たちは常に他の人も誘導し、共に進もうと努力しています。そしてまた「正しく生きること」を信条として生きている人々たちなのです。

こういう生き方こそ、人間として立派な生き方だと信じます。

最後に女性の生き方を考えてみますと、なんとといっても結婚が大きな問題です。もし職場をはなれ、そのごの人生はどうなるか、夫を失った場合、はたして自分の力で生きていけるだろうか。

こんなことを考えると不安でいっぱいです。そして、国家が認めてくれる資格を持っている人をうらやましいと思います。

家庭を大切にすると共に、人間の能力の発揮できる職業について、経済的に自立でき、充実した人生を歩むことが私の最も理想とする生き方ですが、家庭と職業のどちらを守るかといえば、やはり、前者であると思います。ささやかな幸福だけを求め、先にのべてきたことと矛盾を感じないこともありませんが、自分なりに少しの時間を利用して手に職をつけ、将来に役立てようと努力しています。

家庭を守り、子どもを正しい人間に育てていくことも大切な仕事です。

若い時期に学び、考え、悩んだことは絶対無駄ではないと信じ、健康なからだで、明るく、正しく生きるように努力し、また、陰の力となって協力していくつもりです。

雪害から身を守るために

☑自宅前の道路、水利(防災水そう、消火栓、池、流水等)附近の雪を排除して、災害発生時には支障のないようにしておくようご協力ください

☑屋根からおろした雪や積雪、冬囲いなどで、出入口や非常口がせぼめられたり、ふさがれたりすると、火災

発生時には死傷者がでる可能性がありますので、出入口の雪は必ず除雪してください。

☑屋根の雪おろしは常に行ない、特に木造建築物では積雪70センチを越えると危険ですので、雪おろしには細心の注意をはらってください。

催しもの…市民体育館

— 1 月中 —

- 11日 > 電動工具展示会
- 12日 > エレクトーン発表会 (12時~)
- 18日 > 入学おめでとう大会
- 24日 > 民音例会 (三沢あけみ)
- 25日 > 農協青年部民謡大会
- 26日 >
- 27日 >

三税共同納税相談は三月二日(十二日)まで